

平成 30 年 7 月 23 日

保護者の皆様

P T A 会 長 水 澤 保
保 体 部 長 藤 崎 洋 平
校 長 小 椋 慶 洋

字水泳における熱中症事故防止について（お知らせ）

連日、厳しい暑さが続きますが、皆様にはますますご健勝のことと存じます。平素は P T A 活動の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、先日の P T A 期末集会にて、字水泳における児童およびプール監視当番の熱中症事故防止についてご協議いただいた結果、今年度は時間を短縮して行うこととなりました。

つきましては、下記の通り実施いたしますので、皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

1. 時間短縮の内容と進め方

- (1) 入水は 1 5 分×2 回（間に 5 分間の休憩）とし、実質の活動時間を約 4 0 分短縮する。
- (2) 1 1 : 0 0 をめどにプールを施錠し、その後の約 3 0 分間はエアコンの効く図書室で読書と休憩の時間をとる。（当番の保護者も一緒に休憩する）
- (3) 1 1 : 3 0 までを当番による児童管理の時間とする。
- (4) 1 1 : 3 0 になったら、図書室でプールカードを返却し、解散とする。
- (5) その後、当番は図書室の消灯とエアコンのスイッチ O F F を確認し、職員室にプール日誌等を返却する。

2. その他

- ・体調がおもわしくないときに、無理をして参加させることは、絶対にしない。
- ・自転車は、プール側でなく、職員室側の校舎沿いに、来た順番に並べさせる。
- ・プールカードは図書室での返却を徹底する。
- ・水分は十分に準備し、持たせるようにする。
- ・当番の日傘は禁止となっていたが、強烈な日差しが予想されるので、使用してもよいこととする。ただし、周囲の安全管理は怠りなく行う。